

活動名称 (40字以内)	東大農場・田無演習林・サマースクール2019の企画・運営		
団体名等	東大農場・田無演習林・サマースクール2019実行委員会(安永円理子)		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		4 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019年6月下旬 ~ 2019年8月下旬	主な活動場所	農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構
	3 日間		
目的	西東京市の東大附属施設で小学生、保護者や市民が農・森・環境を学習・体験するプログラムの当初企画から準備、当日の運営まで主体的に取り組ませることにより、共催する外部組織や市民との調整作業など社会連携の進め方について体験させる。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>農学生命科学研究科附属生態調和農学機構では、2015～17年夏に小学生を対象とした子供サマースクールを、同機構社会連携協議会(市民と機構が社会連携に関して意見交換する場)・西東京市・多摩六都科学館などと共催し、好評を博してきた。本サマースクールは小学生(3年～6年生)や保護者・市民を対象に、附属施設の作物圃場とその周辺草地・演習林等を最大限活かしながら、作物や動植物・森を学び体験させるもので、市民ボランティアや自治体(西東京市)、博物館(多摩六都科学館)など多様な組織と連携しながら実施したものである。附属施設としても従来からの教育研究機能を、市民に開かれたという新しい切り口で、さらにその存在の価値を高めることができると確信し、2019年度も実施予定としている。</p> <p>本提案は、2019年度実施予定のサマースクールに、参加学生に主体的に取り組んでもらい、企画段階から準備、当日の運営まで主体的に取り組むことにより、市民に開かれた大学と市民や外部組織との社会連携のあり方について体験する場を提供しようというものである。</p> <p>本サマースクールは、とりわけ安全に配慮すべき子供を対象にすることもあり、外部者を含め多様な関係者間と企画立案・準備・実施運営などのそれぞれで、十分な議論と調整が必要である。参加学生にとって、さまざまな立場の関係者とのやりとりや調整なども含め、僅か数日の開催であっても、参加する子供達にとって安全で充実したものとするには、多くの問題解決を図らなくてはいけないことを、主体的に取り組むことで学ぶ機会を得る。具体的には、サマースクールの開催日は8月下旬頃とし、その企画立案および準備は6月下旬頃に開始する。企画・準備期間には毎月1回、合計3回程度(1回2時間程度)の実行委員会会議を実施する。参加学生には準備段階から参加し、主体的に関わり、プロジェクト実施にいたる道筋を学ぶことを求める。</p>		
備考	本企画は、学生のみで行うものではなく、附属生態調和農学機構の教職員、多摩六都科学館、市民実行委員とともに行うもので、とくに盛夏における子供達の安全確保など、経験者が十分バックアップできる体制にある。		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)		その他*特記事項は以下に記載
	交通費	3,000 円	
	宿泊費	円	
	(食費)	円	
参加費	円		
	計	円	奨励金額 なし 円
ウェブサイト等	東京大学農学生命科学研究科附属生態調和農学機構 <a href="http://www.isas.a.u-tokyo.ac.jp/index.shtml">http://www.isas.a.u-tokyo.ac.jp/index.shtml</a>		